

## 実技研修会（夏の教材製作講習会） 報告

8月11日、たかつガーデン「たかつ」で、実技研修会…夏の教材製作講習会を行いました。今年も「象の会」の内藤 壽・松永 榮一・朝井 翔二 各先生に講師をお願いしました。外の猛暑に負けないくらい、参加者全員の熱い思いで会場が熱気いっぱいになった一日でした。

午前中は、講師の方たちから、今までに作られた作品の紹介、作り方や実際に使ってみてどうだったか、どのような場面でどのように使うのがよいか、などのお話をうかがいました。わかりやすく楽しいお話でした。

以下、◎は参加された方にアンケートに書いていただいた文からです。

- ◎ ひたすら驚きの連続でした。しかけを教えていただいて、これは作ることができると思うものもあれば、これはできないなあというものもありました。1つ1つの教材には、まず子ども1人1人の実態把握があって作られていくというお話、あたり前のことのようにですが、なかなか意識できていません。とても勉強になりました。
- ◎ お話のはしばしに、目の前の子ども達のニーズに合わせて一、の思いが伝わり、あらためて、そうなんだ、と思いました。
- ◎ いろいろな目を引く教材を紹介していただき楽しんでしまいました。工夫ひとつですごい教育効果を発揮できる教材があると感心しました。
- ◎ 三者三様の切り口で、教材作成の序章を披露してくださり、ちょっとした舞台を観ているようでした。入れ替わりも絶妙に感じました。



午後は、前半、後半、それぞれ3つに分かれて、参加者が実際に教材を作成しました。学校ですぐ使える、教えている子どもたちに最適、などの声が多くありました。また、カンタンさかなつり、ぱたぱた などの絵の美しさ・可愛さにも心うたれました。

- ◎ 完成品を見て、具体的な生徒の顔が浮かんだ。
- ◎ 時間がたつのを忘れて作りました。
- ◎ どれも下準備をしっかりといただいているので、誰でも簡単にできてしまうというのがいいと思います。
- ◎ お絵かきヘルパーは、円形塩ビのサイズの調整で、脳性まひの子でも使いやすくなると思いました。直径が大きくなれば、少々手のつっぱりも大丈夫かと。
- ◎ 声・速さメーターは、すぐに使えて、とても有効な優れた教材だと思った。
- ◎ 数字の歌、扇なかぶ、どちらも絵がかわいいので気に入りました。練習して、子どもたちの前で、やってみようと思いました。



☆ アンケートの中で、多くの方が書かれていたのが、くり上がり計算機 でした。手に入れたい、作ってみたい、来年お願いしたい、という声が多くありました。

全体を通して、象の会の方に感謝でいっぱい、という意見が多くありました。とくに、この日の研修のために多くの時間と手間をかけて、象の会の方が、下ごしらえをしてくださったことには、感謝の思いでいっぱいです。

- ◎ このような研修会を年に何回も実施してほしい。
- ◎ 講師の先生3人とも、私にとって、あこがれの方でした。独創性があり、工夫があり、技術、知識があり、すごいプロだと思いました。
- ◎ 難しい専門用語ばかり口頭で聞かされるのではなく、このようにアイデアを形

にして子どもたちに提供していける研修を希望します。

◎ 100均などで買えるものなどを教材に上手く使えた例があれば知りたい。

今回、各教材30名、合計90名先着順という形で定員設定をしたところ、6月末には、人気の教材が定員に達し、7月初めには受け付けを締め切ることとなりました。第2・第3希望に回っていただいた方、残念ながら参加していただけなかった方が多くおられました。FAXでの申し込みがスムーズにいかなかった例など実務面において検討の必要な点もありました。

来年もぜひ参加したい、来年こそ参加したい、という思いの方が多くおられます。来年に向け、よりよい形での研修会の実施、申し込み受付の形を検討したいと考えています。

同時に、象の会の方たちに教えてもらうだけでなく、このような実践を私たちがどのように広げていくか、より深めた形にしていくか、を考えなければなりません。

今後ぜひ、教材を実際に教育現場で作った実践、子どもたちといっしょに使ってみた実践や授業の報告を聞かせていただきたいな、と思いました。

(文責 大支援研書記 佐藤正幸)

☆「象の会」のホームページ <http://www15.ocn.ne.jp/~zounokai/> もご参照下さい。

☆ 参加者の方へ 教材を実際に教育現場で作った実践、子どもたちといっしょに使ってみた実践や授業の報告 などなど  
ぜひ、大支援研にお知らせください。

